

株式会社でん六 新社屋に金山杉をふんだんに使用 栽培拡大に向け5年目も連携を深める



- ① 株式会社でん六の鈴木隆一社長と佐藤町長
- ② エントランスホール——落花生をモチーフにした曲線を随所に取り入れた受付の様子
- ③ 3階展示室——でん六の歩みや、商品が陳列されている

◆株式会社でん六と金山町の繋がり◆

平成30年4月17日に、町と(株)でん六・山形大学東北創生研究所の3者が地域農業振興協定を締結し、落花生の新たな生産地化を目指し、生産者と一緒に取り組みを行ってきました。

(株)でん六からは、初年度の4月から、毎月、多い時には毎週のように栽培の指導をいただき、緊密な連携を図ってきました。このような関わりから、山形市の本社新社屋の随所に金山杉を利用させていただくことにも繋がっています。

新社屋の3階展示室では、これまでの(株)でん六の歴史や取り組みと共に、金山町の「ビーナッツ」プロジェクトの概要についても紹介されています。



でん六の主力商品とともに「ビーナッツ」も展示されている

◆落花生今後の展望◆

落花生生産団体である「金山町新産地開発協議会」は金山町産落花生「ビーナッツ」の栽培に取り組んでおり、今年度で5年目を迎えます。昨年は、生産者17名、面積3.3haの栽培となっており、今後も面積を拡大していく予定です。金山産落花生「ビーナッツ」を食べた方や加工する菓子店の方からは、「金山産の落花生は柔らかく、食べやすい」と評価をいただいております、徐々に県内でも認知度が高まっています。

町では、ほかの農産物に比べ軽作業が多く、6次産業化にも取り組みやすいことなどから、新しい園芸品目として落花生栽培に力を入れています。

少しでも興味を持った方は、どうぞお気軽にお電話ください。

圃 役場産業課 農政係

☎52-2111 (内線408)